目次

【1】必ず最新版にアップデートして使う。……… P1 【2】ZOOMの部外者参加回避の機能の利用 ……P2-3 【3】さらに安全に利用したい場合 ………P4 【4】その他の事項 …………P5

アカウント不要のweb会議ツールに共通するリスクは『会議参加者が、会議用 のURLとパスワードをインターネット上に公開し、部外者が参加してくる可能性が あること』です。これを回避する機能を利用し、お客様と安全なWEB面談を実施 してください。

【1】 必ず最新版にアップデートして使う。 右上の「①アカウント」を開けて、「②アップデートを確認」を選択



③「更新可能」と表示されたら、更新実施!





【2】 ZOOMの「部外者参加回避機能」の利用

・会議を設定する際に「待機室を有効化する」を選択することで承認された人のみ、「会議室」に参加が可能になります。

・間違って違う方を参加させてしまった場合はキックして追い出すことが可能。

①スケジュールをクリック⇒ー番下の「詳細オプション」を開く

	ミーティングをスケジューリング				
	ትピック				
	Zoom ミーティング				
	開始: 日 4月 19, 2020 🗸 16:00				
	経過時間: 0時間 ~ 30分 ~				
	□ 定期的なミーティング タイム ゾーン: 大阪、札幌、東京 ∨				
	ミー ティングID ● 自動的に生成 ○ 個人ミーティングID				
	パスワード マ ミーティング パスワード必須 パスワードは変更	も可能			
	ビデオ ホスト: ● オン ○ オフ 参加者: ● オン ○ オフ				
オーディオ ○ 電話 ○ コンピューターオーディオ ○ 電話とコンピューターのオーディオ					
	カレンダ ー 〇 Outlook O Google カレンダー 〇 他のカレンダー				
	詳細オプション ~				
	スケラュールキャンセル				

②「詳細オプション」の「待機室を有効化」に<u>チェックをいれる</u> ③「ホストより前の参加を有効にする」の<u>チェックを外す</u>



④会議スタート時、主催者は「待機室」にいるメンバーを確認して から入室を可能にし、会議をスタートする。 予定外のメンバーが入っている場合は開催前に外す。

【3】 さらに安全に利用したい場合 会議が開始したら途中参加をロックする。これで途中参加が不可に。 「セキュリティ」⇒「ミーティングをロック」にチェック



セキュリティボタン

①「ミーティングをロックする」にチェックを入れる



【4】その他の事項:設定内容の把握

自分の設定内容を把握しておく。 特に「レコーディングしています」については自分の設定がどうなっ ているかを把握しておいてください。気が付かずに画面共有時の ビデオ録画にチェックが入っていたりすることは、お客様への対応 として避けたいところです。

録画・録音についてお客様にお断りなく実施しない。

🖸 設定				\times
\odot	一般	口一加線音	場所: 開く 変更	
	ビデオ		残り 32 GB です。	
	オーディオ		○ ミーティング終了時の録音ファイルの場所を選択します	
ſ	画面を共有		 ○ 各話者の首座トフックを記録 ○ サードパーティビデオエディター用に最適化する ⑦ 	
0	チャット		□ 記録にタイムスタンプを追加する ⑦	
	バーチャル背景		□ 画面共有時のビデオを記録	
0	レコーディングしています		□ 一時的なレコーティングファイルを保持 ⑦	
8	プロフィール			
	統計情報			
C	フィードバック			
	キーボードショートカット			
Ť	接近性			